

2年間の任期を終えて

岐阜県臨床検査技師会
会長 棚村一彦



私が、会長の就任させて頂いた2022年はコロナ渦の真っ只中でした。私自身も同年7月に感染を経験致しました。コロナ渦の影響によりWebでの会議や学会等新しい形態での会務の運営で、例年の事業が中止、または延期などもありました。その中でタスクシフトシェア講習は順当に開催されておりますが、これはひとえに担当関係者の皆様のおかげです。

会員の皆様におかれましても今後受講の程よろしくお願いいたします。

今年の元旦の能登半島地震においては1名の会員の方にDVT検診の活動支援をして頂きました。日程の都合により支援参加はできませんでしたが、支援の意思表示をして頂いた会員の方を含めこの場を借りて改めて感謝申し上げます。しかしながら中部圏支部での被災でしたが、会長として情報の発信が少なかった事をお詫び申し上げます。この2年間の任期中も会員の皆様方への技師会の情報交換等繋がりが乏しかった事は大きな反省点であります。会長職は退きますが、一会員としてこれからも技師会活動の支援協力は続けていきたいと思っております。会員の皆様方におかれましても臨床検査技師の未来のために一層のご支援・ご協力お願い申し上げます。

最後になりましたが、役員の皆様、会員の皆様ふがない会長でしたが、2年間支えて下さり心より感謝申し上げます。

第61回岐阜県医学検査学会

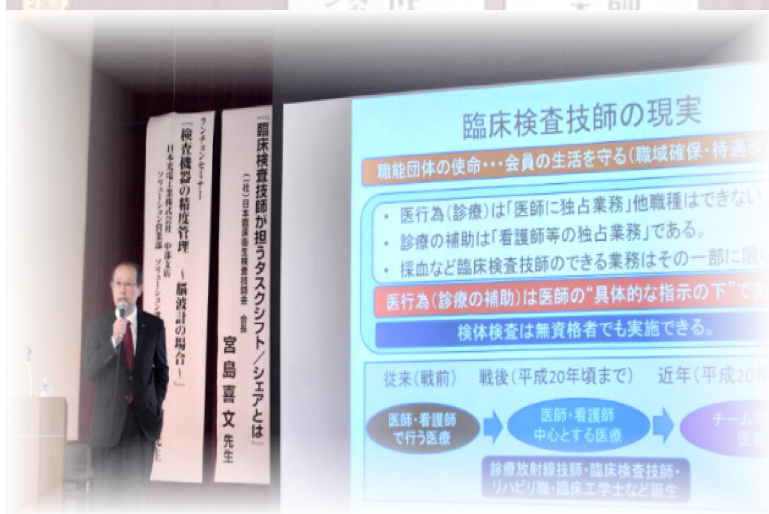
令和5年3月10日(日)
岐阜医療科学大学 早緑ホール

学会長

菊地 良介 (岐阜大学医学部附属病院)

実行委員長 浅野 敦 (東海細胞研究所)

事務局長 苅谷 美里 (澤田病院)



去る3月10日(日)、第61回岐阜県医学検査学会を菊地良介学会長のもと岐阜地区が担当して岐阜医療科学大学にて現地開催させていただきました。2020年から新型コロナウイルス感染症が拡大・蔓延になって以降初めての現地開催となり、学会参加者は岐臨技会員、賛助会員、学生を含めて131

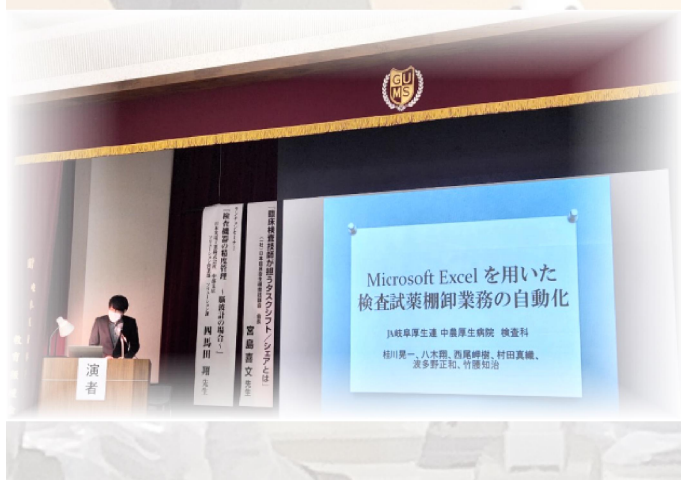
名と多くの方に参加を頂きました。

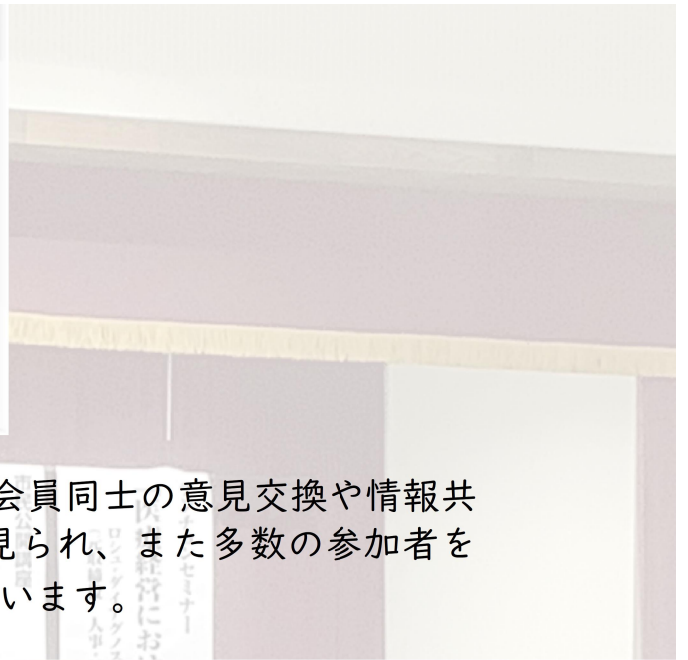
一般演題は学生演題5題を含む計18題の発表があり、どの演題でも質疑応答が活発に行われ時間が押す状況でありました。殊に学生の発表内容の質は高く、この先臨床検査技師として活躍されることが大いに期待され、岐臨技の益々の発展に繋がっていくであろうと想像されました。

また、日臨技・宮島喜文会長による『臨床検査技師が担

うタスク

シフト/シェアとは』の教育講演、中部国際医療センター・水谷晃輔先生による『がんゲノム医療ができること』の市民公開講座においては、チーム医療の中における臨床検査技師の需要と供給を再確認する機会となったのではないのでしょうか。



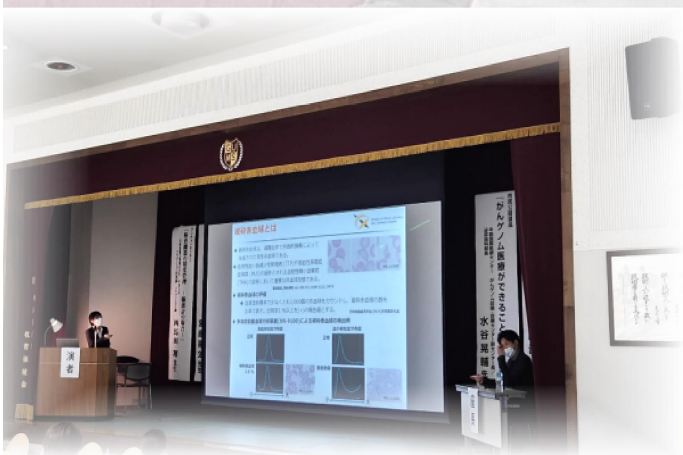


今回の学会では緊張感ある発表会場、会員同士の意見交換や情報共有といった現地開催ならではの光景が見られ、また多数の参加者を募ることができ有意義であったと考えています。

今後も現地開催が継続し、加えて学会後には懇親会の開催ができるようになると更に喜ばしいと思います。

岐臨技会員ならびに賛助会員の皆様のご理解とご支援を賜り、第61回岐阜県医学検査学会を無事終了することができました。ここに改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

実行委員長
東海細胞研究所 浅野 敦



輸血実技研修会報告

【日時】 2024年2月24日（土） 13:45～17:00

【場所】 東海学院大学

【参加人数】 32名

【目的】 輸血検査において、試験管法は大変重要な検査方法であり、岐阜県内においても広く活用されています。しかし、誤った操作は結果に大きく影響を及ぼし、医療事故につながります。今回は、試験管法の基本操作を県内の認定輸血検査技師から学び、業務に役立ててもらいたく企画しました。

【内容】 ① 講義 「試験管法における基本操作・凝集の見方」

講師 バイオラッドラボラトリーズ株式会社 小黒博之先生

② 実技

凝集の目合わせ

血液型検査

不規則抗体検査

③ まとめ

「ありがとうございました」

輸血部門長 松波総合病院 森本剛史

3年ぶりに実技研修会を開催することができました。近年はウェブ研修会が主体で実際に顔を合わせる機会がなく、対面形式での開催で参加者の皆様と共に研修できたことは主催側として喜ばしく感じました。準備に若干不備があり参加者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。また、時間もとらず、運営の課題として次回開催につなげていきたいと思えます。実務委員として指導していただいた岐阜県内の認定輸血検査技師10名の方々と会場提供していただいた東海学院大学様に深く感謝申し上げます。

「R5年度 輸血実技研修会に参加して」

岐阜県総合医療センター 杉本真綾

この度、初めて輸血実技研修会に参加させていただきました。輸血の試験管法については日頃の業務でよく行なっていますが、どこまで正しく操作や判定が出来ているのか不安なところもあったので、こちらの研修会で細かい操作の注意点などを学ぼうと思いました。座学では、試験管法の操作上における注意点等を多く学べました。実技の血液型・不規則抗体検査では、判定する時の正しい試験管の動かし方や、時間経過による判定への影響について、新しく知ることも多く理解が深まりました。血液型判定保留における原因考察、追加検査についても、答えきれなかった分もありとても勉強になりました。今回の研修会では基礎的で重要な輸血の知識や技術について多く学ぶことができ、大変勉強になりました。



「R5年度 輸血実技研修会に参加して」

JA岐阜厚生連岐阜・西濃医療センター岐北厚生病院 安藤 優希

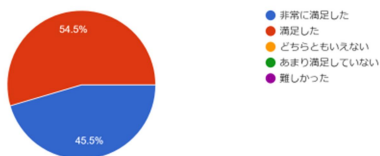
今回の研修会では、通常の業務で不可欠である用手法について実技という形で行うことができ、とても勉強になりました。

凝集の見合わせでは、試験管の振る速さや凝集のどの部分に着目すべきかを実際に教わることで、凝集の強弱を正確に判断することができたと思います。血液型検査では、実際に部分凝集を見ることができました。反応強度が強くても、赤血球の流れをきちんと見ることが大切であると感じました。不規則抗体検査では、時間が少なく不規則抗体を同定することができませんでした。今回同定していく中で、量的効果や出現頻度についての理解が乏しいと感じたため今後理解を深めていくべきだと思いました。

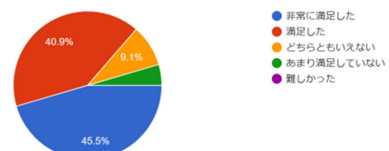
今回の研修会では手技や結果の解釈の仕方などを実際に教わることで、今後の業務で気をつけていく点や学ぶべきことが明確になりました。今後は、今回教わった内容を生かし、輸血業務に励んでいきます。



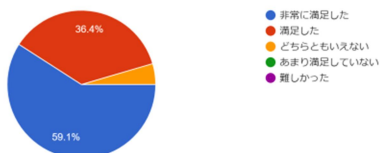
1. 講義「試験管法における基本操作・凝集の見方」について
22件の回答



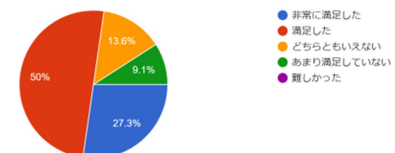
2. 凝集の見合わせについて
22件の回答



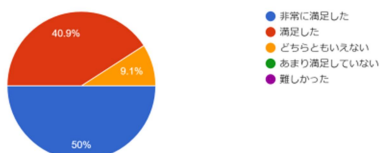
3. 血液型検査について
22件の回答



4. 不規則抗体検査について
22件の回答



5. 研修会全体について
22件の回答



アンケート結果

凝集の目合わせについての意見・感想

- 一部ですが、正解の反応強度より1管差弱く判定していることに気付かされました。
- 予想と実際の凝集具合が違ったため、1+.2+あたりの判定が分かりづらかったです。
- 丁寧に教えて頂いてわかりやすかった。
- 希釈系列でどこまでを陽性w+とするかやってもらいたい。
- 正解の凝集の結果に出なかったのが納得いく目合わせが出来なかったです。
- 初めは反応が強くなってしまったが、混和してすぐに遠心したところ、正しく反応が出たのでよかった。
- グループの中で自分の判定がズレていたため、どのようにセルボタンが崩れたらどんな判定になるのかももっと勉強したいです。
- 力価の違いによる凝集が確認出来て良かった。

血液型検査についての意見・感想

- 自分独自のやり方で検査している箇所に気付かされました。
- 研究班の方が色々質問に答えてくださったので本当にありがたかったです。
- 基本操作から丁寧に教えて頂いてよかった。
- mfが分からなかったためまた勉強したいです。
- 部分凝集を見落とししてしまったので、試験管の振り方を改善していきたいと思います。
- 部分凝集を実際に見ることが出来て今後検査する際意識していきたい。

不規則抗体検査についての意見・感想

- 時間がなくてあまりできなくて残念だった。
- 講師に尋ねると、具体的に教えてくださり良かったです。

- 時間が足りなくてできなかったため次回があれば参加してぜひ教えて頂きたい。
- 試験管法で不規則抗体の検査を行うことが久しぶりだったので、指導者の方に教えていただきながら正しく抗体を同定することができたので良かったです。



運営についてのご意見・感想

- 時間が少なかったです。
- 認定技師の方に教えていただき、非常に勉強になりました。
- 参加させていただきありがとうございました。
- 時間が足りずに最後まで実習できなかったことが残念でした。長年のやり方を修正できたので、満足な研修会となりました。ありがとうございました。
- 研究班の方の対応が丁寧で説明もわかりやすくありがたかったです。
- もう少し時間を長くしていただくか、2回くらいに分けてもらってもいいので全部行いたかったです。不規則抗体のスクリーニングや同定の判定をもっと詳しく教えて欲しかったです。教えてくださった方がずっと他の子に付ききりで中々教えてもらえなかったのが教えてくださる方をもう少し増やして欲しいです。
- 全体的に時間が無く、やりたかった不規則抗体の検査ができなかったのもう少しゆとりのあるスケジュールが良かったです。
- 久しぶりに参加した研修会でしたが、他施設の方と交流しながらの研修は非常に有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- 認定の先生方に指導をしてもらえる貴重な機会を設けていただき有難うございました。受講者のレベルに応じた指導やグループ分けだと良かったかと思いました。
- 1つの班の人数も少なく、輸血認定技師の方もいて直ぐ質問出来て良かったです。しかし時間が足りなくて慌しくもう少し実技の時間が欲しかったです。
- 指導者の方が丁寧に指導してくださったので、スムーズに手技を行うことができました。
- 時間配分がうまくできるように作業時間に制限を設けてもらえるとう良かったかも知れないです



今後の研修会についての要望

- 今後も、血液型や不規則抗体検査の様々なパターンを実習したいです。
- 実務員の方と質疑応答できる時間がもう少し長く欲しいと思いました。
- 不規則抗体のパターン例や血液型の亜型を学びたいです。
- 複数の不規則抗体持ちの患者の対応、考え方。オモテ、Dのmfの考え方対応など知りたいです。
- 来年度もぜひ開催をお願いしたいです。
- 不規則抗体スクリーニングが時間内で終わらなかったのが今後の研修で出来れば嬉しいです。また交差適合試験と直接クームス試験の研修会も行っていきたいです。
- 実技講習会では、基本の大切さを改めて知る事ができ自分の勉強不足を知る事が出来ました。次回の実技講習会がある事を願っております。有り難うございました。
- 今回の勉強会では時間が足りず不規則同定検査を行うことができなかったのが、もし今後実技の研修会があれば実技を行う時間を長くしていただきたいです。
- これからも実技の研修に参加したい。
- 抗体価測定や解離試験などの実技研修もあったら参加したいです。

令和6年度 岐阜県臨床検査技師会 定時総会

開催日：令和6年6月9日（日）13:30～

開催方式：現地開催（岐阜清流病院 5階大会議室）

※LIVE配信は行いません

申込期限：6月3日（月）

「出席票 兼 議決権行使書」を事務局に提出してください

【議題】

第1号議案 令和5年度岐行報告

第2号議案 令和5年度決算報告

第3号議案 令和5年度監査報告

第4号議案 令和6・7年度役員の承認について



1

令和6年度 新人サポート研修会

開催日：令和6年6月2日（日）

9:30～16:15

開催方式：現地開催

岐阜医療科学大学 早緑ホール

申込期限：5月20日（月）

参加費：無料

（弁当を依頼する場合は1000円）

3

生物化学分析部門研修会

開催日：令和6年6月30日（日）

13:30～15:30

開催方式：現地開催

東海中央病院 大会議室

申込期限：6月21日（金）

参加費：無料

2

第1回臨床一般部門研修会

開催日：令和6年6月16日（日）

13:00～15:30

開催方式：LIVE配信（Zoomウェビナー）

申込期限：6月9日（日）

参加費：無料

4

臨床生理部門（神経生理分野）研修会

開催日：令和6年7月6日（土）

14:00～16:00

開催方式：現地開催

岐阜県総合医療センター

情報交流棟3階 中会議室

申込期限：6月23日（日）※定員20名

参加費：無料

発行所（一社）岐阜県臨床検査技師会 〒500-8383 岐阜市江添2丁目5-15 ソシエ2001-305号室

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

発行責任者 棚村 一彦

編集者 市川 浩良 種村 久子

E-mail giringi-office@giringi.jp